



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月13日

上場会社名 大和冷機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6459 URL <http://www.drk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 敦史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 中津留 彰伸

TEL 06-6767-8171

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	28,991	1.6	4,776	10.5	4,832	10.5	3,261	7.2
28年12月期第3四半期	28,522	4.0	5,338	2.1	5,401	1.7	3,512	3.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	63.51	
28年12月期第3四半期	68.40	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	71,853	60,258	83.9
28年12月期	67,978	57,543	84.7

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 60,258百万円 28年12月期 57,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		5.00		5.00	10.00
29年12月期		5.00			
29年12月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,550	3.0	6,300	2.5	6,320	1.5	4,280	2.8	83.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	51,717,215 株	28年12月期	51,717,215 株
-----------	--------------	---------	--------------

期末自己株式数

29年12月期3Q	366,690 株	28年12月期	366,209 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	51,350,707 株	28年12月期3Q	51,351,240 株
-----------	--------------	-----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(第3四半期累計期間)	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
3. 補足情報	5
品目別売上高	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢が改善し、景気は回復基調が続きました。一方、米国の政策運営や中国経済の下振れ懸念等、わが国経済を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境は、主要取引業種である外食産業、食品業界や一般小売業等にあつては、個人消費の底堅い動き、外国人観光客の増加が売上に寄与したものの、低価格志向がいまだに根強いことに加え、業種業態を超えた競争の激化や、人手不足の影響による採用コスト及び人件費の上昇等、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のもと、当社は2017年度グッドデザイン賞を受賞した自動スライド扉冷蔵庫のラインナップを拡充し、省スペース化や衛生管理に関する顧客ニーズにお応えすることで顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、東南アジア市場に向け、主要製品である業務用冷蔵庫の海外向けモデルの生産・販売を開始しました。

その結果、当第3四半期累計期間における業績につきましては、売上高28,991百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益4,776百万円（前年同期比10.5%減）、経常利益4,832百万円（前年同期比10.5%減）、四半期純利益3,261百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて3,875百万円増加の71,853百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金の増加3,228百万円、棚卸資産の増加670百万円であります。

(負債)

負債は、前事業年度末と比べて1,161百万円増加の11,595百万円となりました。

この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,121百万円であります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて2,714百万円増加の60,258百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が2,747百万円増加したためであります。これらの結果、自己資本比率は83.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に発表いたしました、平成29年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,462,604	44,691,227
受取手形及び売掛金	4,191,677	4,501,352
商品及び製品	1,557,655	2,030,070
仕掛品	290,220	314,334
原材料及び貯蔵品	443,399	627,966
点検修理用部品	199,012	187,964
その他	620,923	739,343
貸倒引当金	△1,357	△1,654
流動資産合計	48,764,136	53,090,605
固定資産		
有形固定資産	9,636,265	9,284,462
無形固定資産	130,740	106,933
投資その他の資産		
投資有価証券	685,369	638,352
長期預金	8,000,000	8,000,000
その他	827,871	798,966
貸倒引当金	△66,071	△65,394
投資その他の資産合計	9,447,170	9,371,924
固定資産合計	19,214,176	18,763,320
資産合計	67,978,313	71,853,926
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,344,797	5,466,103
未払法人税等	911,784	882,274
引当金	352,785	814,582
その他	3,172,790	2,984,204
流動負債合計	8,782,157	10,147,164
固定負債		
退職給付引当金	444,429	216,555
役員退職慰労引当金	1,202,101	1,222,656
その他	5,750	9,250
固定負債合計	1,652,281	1,448,462
負債合計	10,434,439	11,595,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,907,039	9,907,039
資本剰余金	9,867,880	9,867,880
利益剰余金	37,956,577	40,704,149
自己株式	△208,297	△208,833
株主資本合計	57,523,200	60,270,235
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,673	△11,936
評価・換算差額等合計	20,673	△11,936
純資産合計	57,543,874	60,258,299
負債純資産合計	67,978,313	71,853,926

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	28,522,974	28,991,818
売上原価	11,135,505	11,467,351
売上総利益	17,387,468	17,524,467
販売費及び一般管理費	12,049,313	12,748,446
営業利益	5,338,154	4,776,021
営業外収益		
受取利息	15,881	10,898
受取配当金	8,337	8,361
スクラップ売却益	49,935	48,450
その他	68,372	60,637
営業外収益合計	142,526	128,347
営業外費用		
スクラップ処分費	54,061	49,403
その他	25,319	22,422
営業外費用合計	79,381	71,825
経常利益	5,401,299	4,832,543
特別利益		
固定資産売却益	19	16,909
特別利益合計	19	16,909
特別損失		
固定資産除却損	11,403	296
災害による損失	62,796	-
特別損失合計	74,200	296
税引前四半期純利益	5,327,118	4,849,156
法人税、住民税及び事業税	1,934,723	1,699,378
法人税等調整額	△119,871	△111,301
法人税等合計	1,814,851	1,588,076
四半期純利益	3,512,267	3,261,080

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 補足情報

品目別売上高

品目		当第3四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
製品	厨房用縦型冷凍冷蔵庫	8,712,526	100.3
	店舗用縦型ショーケース	4,965,127	97.1
	厨房用横型冷凍冷蔵庫	2,630,885	97.9
	製氷機	2,149,887	97.5
	その他	2,242,325	125.5
	小計	20,700,750	101.1
商品	店舗設備機器	2,993,743	102.4
	厨房設備機器	2,283,588	103.9
	店舗設備工事	103,936	71.3
	小計	5,381,268	102.2
点検・修理等		2,909,799	104.7
合計		28,991,818	101.6